

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成22年9月24日 (2010.9.24)

【公開番号】特開2007-133391(P2007-133391A)  
 【公開日】平成19年5月31日 (2007.5.31)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-020  
 【出願番号】特願2006-279702(P2006-279702)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 3 1

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】  
 【提出日】平成21年9月30日 (2009.9.30)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【請求項 1】

酸またはアルコールと反応しうる官能基 ( f ) と炭素数 30 以上の直鎖アルキル基 ( r ) とを有する化合物 ( X ) を 0 . 5 ~ 5 質量 % 含有するポリエステル樹脂 ( P ) を含有するトナー用バインダー樹脂であって、樹脂厚 50 μ m における波長 400 ~ 800 nm の領域での光線透過率が全領域で 90 % 以上であるトナー用バインダー樹脂。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】請求項 2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 2】

酸またはアルコールと反応しうる官能基 ( f ) と炭素数 30 以上の直鎖アルキル基 ( r ) とを有する化合物 ( X ) の存在下で、  
 ( A ) 酸成分 (ただし、化合物 ( X ) は除く。 ) 100 モル部、および  
 ( B ) アルコール成分 (ただし、化合物 ( X ) は除く。 ) 105 ~ 150 モル部を重合して、請求項 1 記載のトナー用バインダー樹脂を製造する方法。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0009  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 0 9 】

本発明は、酸またはアルコールと反応しうる官能基 ( f ) と炭素数 30 以上の直鎖アルキル基 ( r ) とを有する化合物 ( X ) を 0 . 5 ~ 5 質量 % 含有するポリエステル樹脂 ( P ) を含有するトナー用バインダー樹脂であって、樹脂厚 50 μ m における波長 400 ~ 800 nm の領域での光線透過率が全領域で 90 % 以上であるトナー用バインダー樹脂に関するものであり、

また、酸またはアルコールと反応しうる官能基 ( f ) と炭素数 30 以上の直鎖アルキル

基 ( r ) とを有する化合物 ( X ) の存在下で、

( A ) 酸成分 ( ただし、化合物 ( X ) は除く。 ) 1 0 0 モル部、および

( B ) アルコール成分 ( ただし、化合物 ( X ) は除く。 ) 1 0 5 ~ 1 5 0 モル部を重合して、トナー用バインダー樹脂を製造する方法に関するものであり、このトナー用バインダー樹脂を含有するトナーに関するものである。